

本市のノーマイカーの取組みについて

「北九州市地球温暖化対策実行計画(H28)」に基づき、過度なマイカー利用の抑制を通じた自動車からのCO₂排出を削減する取組の一環として、今年度、初めて行った、公共交通事業者と連携したキャンペーン等の結果について報告する。

1 「バスに乗って出かけよう！キャンペーン」(本市初)

(1) キャンペーンの概要

ア 目的

市民にバス利用のきっかけを提供し、毎週水・金曜日を中心とする「ノーマイカーデー」の更なる定着を図る。

イ 実施方法

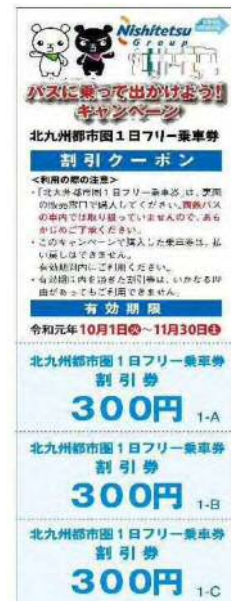
西鉄バス北九州(株)と連携し、「北九州都市圏1日フリー乗車券(800円)」を500円で購入できる割引券を、通勤や買い物などで日常的にマイカーを利用している市民に配布する。

ウ 期間

令和元年10月1日～11月30日(ノーマイカー強化月間)
※受付開始(9/20)から約20日間で、上限人数に到達。

エ 対象人数

1,000人(1人につき、300円の割引券を3枚配布)



※割引券

(2) 参加者アンケートの実施(令和2年1月)

ア 実施方法

参加者にアンケートを送付し、電子申請又は郵送で回収(回収率:62%)。

イ 主なアンケート結果(詳細は別紙)

- 利用者は40歳代が多い(40.5%)
- 職業は会社員、主婦、パート等が同程度(各約25%)
- 「ノーマイカーのきっかけとなる」との意見が多い(75.0%)
- ほぼ全員が「次回も参加を希望」(97.8%)

ウ 感想(自由記述)

- 久しぶりにバス通勤をしたが、思ったより快適だったので、また利用したい。
- 今回初めて1日フリー乗車券の存在や、小学生以下無料であることを知った。また親子で利用したい。
- 改めて地球温暖化について考える良い機会となった。将来に向け、今できることから実践していくことが大事であり、このキャンペーンに賛同する。

エ 要望（自由記述）

- 環境都市として良い取組みなので、今後も続けてほしい。
- 他の公共交通への拡大や、期間の延長をしてほしい。
- 周知方法を工夫すべき。
- バスの利便性向上を望む。

（3）CO₂削減効果（アンケート結果等をもとに推計）

キャンペーン参加者が割引券を利用してバスに乗った距離をもとに、自家用車とバスのCO₂排出量の差を勘案して、**約4トン**と推計。

※推計の条件

- 受け取られた割引券のうち、約80%が使用
- 参加者1人当たりの平均移動距離は、約60km
- 輸送量あたりのCO₂排出量（2017年度・国土交通省）
自家用車：137g-CO₂/人・km バス：56g-CO₂/人・km

（4）今後の取組

市民意識の向上に加え、公共交通機関の利用促進や歩行に伴う健康増進、高齢者の免許返納など、幅広い効果が期待でき、さらに、参加者意見も好評であったことから、より効果的な実施方法を検討し、CO₂削減のさらなる推進につなげる。

2 その他の取組み

（1）ノーマイカー強化月間（毎年10～11月）の普及啓発

- 飲食店等にノーマイカーで来店した市民に、「ていたんポイント」と店舗独自のサービスを付与
- 商店街や主要道路に、横断幕等を設置

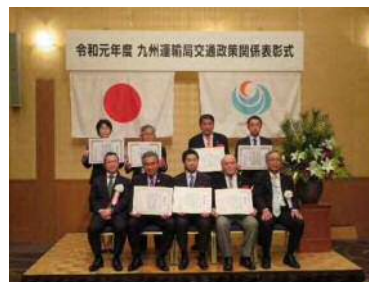
（2）小学校での啓発（毎年4校程度）

- 市内の小学生を対象に、九州運輸局と共同で「交通エコロジー教室」を開催し、地球温暖化・ノーマイカーの啓発や、次世代自動車の見学を実施。



交通エコロジー教室の様相

※本市のこうした取組みが評価され、九州運輸局から「令和元年度九州運輸局交通政策関係表彰」を受賞。（令和2年1月）

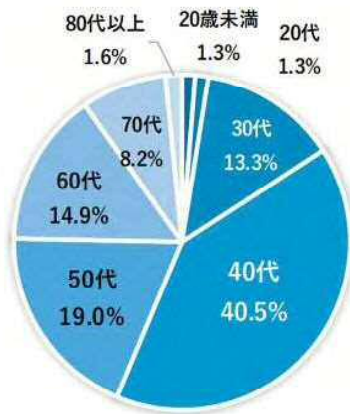


表彰式（九州運輸局）

「バスに乗って出かけよう！キャンペーン」アンケート結果（概要）

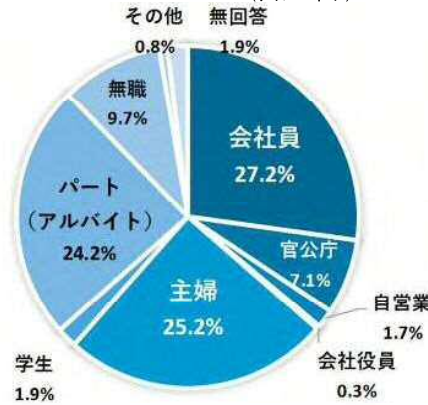
①年齢

※40代が最多



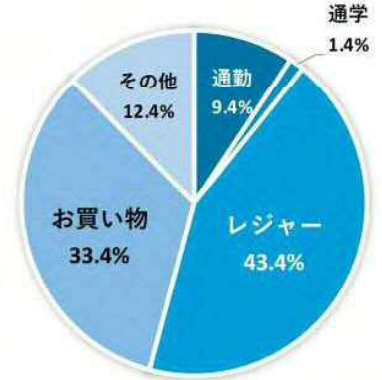
②職業

※会社員、主婦、パートが多い
(アルバイト)



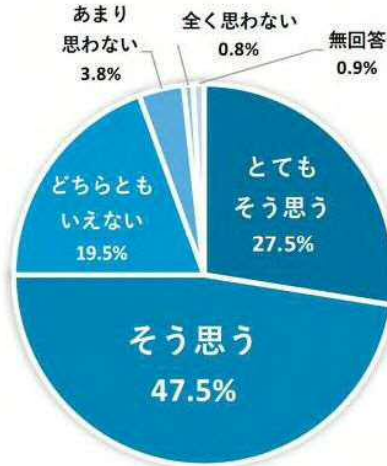
③利用目的

※レジャーが最多



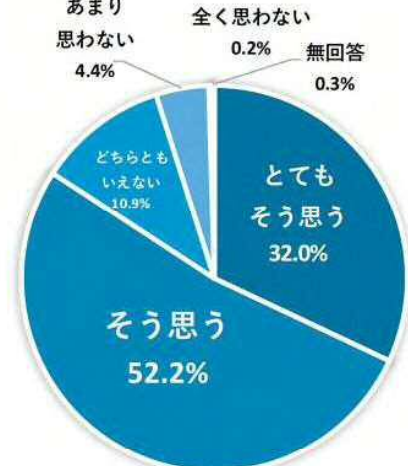
④このキャンペーンが、今後ノーマイカーに
取り組むきっかけになったか

※75%が肯定的な回答



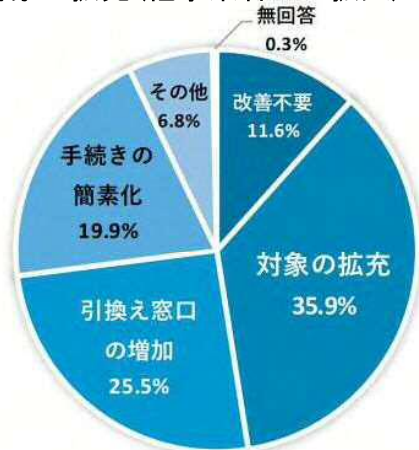
⑤このキャンペーンが
環境意識の向上に役立つと思うか

※80%超が肯定的な回答



⑥キャンペーンの改善点

※対象の拡充(他事業者への拡大)が最多



⑦次回の参加について

※ほぼ全員が「参加したい」と回答

